

平成24年度当初予算案

主要事項説明資料

府民生活部

主要事項説明資料目次

府民生活部

ページ	事業名	担当課(室)
府民生活 1	犯罪被害者等支援活動推進費	安心・安全まちづくり推進課
2	防犯まちづくり推進事業費	安心・安全まちづくり推進課
3	司法過疎地域弁護士派遣支援事業費	府民総合案内・相談センター
4	ドメスティック・バイオレンス対策事業費	男女共同参画課
5	女性チャレンジ支援事業費	男女共同参画課
6	マザーズジョブカフェ推進費	男女共同参画課
7	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)事業費	男女共同参画課
8	京都女性起業家賞(アントレプレナー賞)創設費	男女共同参画課
9	ひきこもり自立支援「チーム絆」事業費	青少年課
10	青少年再チャレンジ支援事業費	青少年課
11	少年非行阻止推進費	青少年課
12	公共再生プロジェクト推進費	府民力推進課
共通 13	総合防災対策推進費	共通
府民生活 14	地域防災力づくり事業費	危機管理・防災課
15	京都府地域防災計画改訂費	危機管理・防災課
16	東日本大震災復興支援金	危機管理・防災課
17	広域防災活動体制推進費	危機管理・防災課
18	わがまちの消防団強化・応援事業費	消防安全課
19	消防学校施設整備費	消防安全課
20	ふるさとレスキュー事業費	消防安全課
21	消費者あんしんサポート事業費	消費生活安全センター

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部
警察本部

事業名	犯罪被害者等支援活動推進費								
予算額	9,000千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨 犯罪被害者サポートチームの活動や、(社)京都犯罪被害者支援センターにおける相談・支援体制の充実、身体犯被害者の診断書料公費負担などを行い、総合的な被害者支援を図る</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所 管</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察本部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の公費負担 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等 </td> </tr> <tr> <td>府民生活部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援 フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催など </td> </tr> </tbody> </table>			所 管	事 業 概 要	警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の公費負担 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等 	府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援 フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催など
	所 管	事 業 概 要							
	警察本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷害など身体犯被害者への診断書料等の公費負担 ・ 被害直後の一時避難場所の確保等 							
府民生活部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰までのトータルなサポートを行う「犯罪被害者サポートチーム」の設置と「コーディネーター」の配置 ・ (社) 京都犯罪被害者支援センターに対する支援 フリーダイヤルによる電話相談 臨床心理士によるカウンセリング ・ 中高生等を対象に「いのちを考える教室」の開催など 								
担当課・係名	安心・安全まちづくり推進課 警察本部 警 務 課	課・係 電話番号	075-414-5079 075-451-9111 (内 2670)						

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部
警察本部

事業名	防犯まちづくり推進事業費						
予算額	23,850千円	新規・継続の別	継続				
事業概要 目的 対象 方法等	<p>1 趣旨</p> <p>地域防犯活動の拠点「府民協働防犯ステーション」の設置拡大及び地域を守る子ども見守り隊活動や「割れ窓理論」実践運動(※)など、地域防犯力の向上を図る</p> <p>(※)「小さな犯罪の芽を摘むことで、大きな犯罪を抑止する」ことを目的とした活動</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="347 1010 1437 1800"> <tr> <td data-bbox="347 1010 1437 1104"> (1) 府民協働防犯ステーションの設置拡大 ・H23 170箇所 → H24年度 260箇所 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1104 1437 1585"> (2) 地域における防犯活動の推進 ・地域の安心・安全サポート事業所登録制度(企業等の地域防犯活動への参画促進) ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動(府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ・【拡充】府民協働防犯ステーションを中心とした少年非行防止行動の実施 ・【拡充】防犯重点エリア(仮称)における防犯活動の充実・強化 (特に犯罪件数の多い警察署管内において、府民協働防犯ステーションを中心に集中的な防犯活動等を実施) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1585 1437 1677"> (3) 人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1677 1437 1800"> (4) 府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業 </td> </tr> </table>			(1) 府民協働防犯ステーションの設置拡大 ・H23 170箇所 → H24年度 260箇所	(2) 地域における防犯活動の推進 ・地域の安心・安全サポート事業所登録制度(企業等の地域防犯活動への参画促進) ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動(府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ・【拡充】府民協働防犯ステーションを中心とした少年非行防止行動の実施 ・【拡充】防犯重点エリア(仮称)における防犯活動の充実・強化 (特に犯罪件数の多い警察署管内において、府民協働防犯ステーションを中心に集中的な防犯活動等を実施)	(3) 人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成	(4) 府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業
(1) 府民協働防犯ステーションの設置拡大 ・H23 170箇所 → H24年度 260箇所							
(2) 地域における防犯活動の推進 ・地域の安心・安全サポート事業所登録制度(企業等の地域防犯活動への参画促進) ・子ども・地域安全見守り隊支援 ・「割れ窓理論」実践運動(府民協働による街の落書き消し等) ・地域安全マップづくり ・「ヒヤリ・ハット情報」活用システム運用 ・【拡充】府民協働防犯ステーションを中心とした少年非行防止行動の実施 ・【拡充】防犯重点エリア(仮称)における防犯活動の充実・強化 (特に犯罪件数の多い警察署管内において、府民協働防犯ステーションを中心に集中的な防犯活動等を実施)							
(3) 人材育成 ・「わがまち安全推進員」養成 ・防犯ボランティア養成							
(4) 府域全体への防犯意識向上 ・京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり推進本部運営 ・「府民防犯の日」等普及啓発事業							
担当課・係名	安心・安全まちづくり推進課 警察本部 生活安全企画課	課・係 電話番号	075-414-5079 075-451-9111 (内)3041				

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	司法過疎地域弁護士派遣支援事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>身近に弁護士がいない、法律サービスへのアクセスが容易でない地域において、継続的に法律相談の機会が提供される環境づくりを実施</p> <p>2 事業内容</p> <p>弁護士不足の著しい地域において、京都弁護士会が行う法律相談事業を支援</p>		
担当課・担当名	府民総合案内・相談センター—総合案内・相談担当	課・担当 電話番号	075-414-4234

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部

事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業費		
予算額	14,673千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> 目的 対象 方法等 </div>	1 趣 旨 家庭支援総合センター（配偶者暴力相談支援センター）を中心に市町村や関係機関の連携、協力のもと被害者の相談、保護、自立支援等を実施		
	2 事業概要		
	区 分	内 容	所 管
	相談窓口 (4,826千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶DV相談支援センターを府南部・北部に設置 ▶DV専用電話相談の実施 ▶夜間・休日相談の窓口設置 ▶婦人相談員の配置・研修（二次被害防止） ▶市町村相談員等に対する研修 	健康福祉
	専門的指導の確保 (3,000千円)	▶心理療法士によるカウンセリング	健康福祉
	一時保護機能 (3,916千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶一時保護委託先の確保（母子生活支援施設等） ▶保育士の配置（同伴児対策） ▶民間シェルターと連携・協力した被害者支援 	健康福祉
	被害者の自立支援 (1,644千円)	▶自立支援グループワークの実施	府民生活
		<ul style="list-style-type: none"> ▶通訳の派遣（外国人被害者への対応） ▶診断書料の給付（保護命令申立て、就職時の健康診断等） ▶被害者の地域生活を支援する「地域生活サポーター」の養成 	健康福祉
協力機関の連携・協力 (384千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議の運営（民間支援機関との連携、一時保護所退所先の確保・迅速な広域連携） ▶福祉施策の円滑な適用（生活保護等） ▶DV相談支援センター機能の広報啓発 	府民生活 健康福祉	
啓 発 (903千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶DV啓発カードの作成・設置 ▶啓発講座 	府民生活	
担当課名・担当名	男女共同参画課 企画・推進担当 家庭支援課 家庭福祉担当	課・担当 電話番号	075-414-4291 075-414-4582

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	女性チャレンジ支援事業費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣 旨 起業やNPO立ち上げ等の女性のチャレンジを支援するため、相談・セミナーの開催や、インキュベーション施設を運営</p> <p>2 事業概要</p> <p>▶女性チャレンジ相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業支援等にノウハウを有する女性カウンセラーが、相談者一人ひとりの状況に応じたカウンセリング、アドバイス、情報提供等を実施 ・開催場所 男女共同参画センター会場 1回程度/週 北部巡回相談（中丹・丹後） 4回程度/年 <p>▶女性のための起業セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業の具体的な方法について学ぶセミナーを実施 ・開催場所 男女共同参画センター <p>▶女性チャレンジオフィス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の空店舗等を活用した女性向けインキュベーション施設の運営 ・商工会議所、NPO等による相談、支援の実施 ・設置場所 亀岡市 		
担当課・担当名	男女共同参画課 企画・推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4291

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部

事業名	マザーズジョブカフェ推進費			
予算額	97,690千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じて、子育てと就業をワンストップで支援する「マザーズジョブカフェ」を運営			
	2 事業内容			
		項目	内容	所管
	窓 口	ママさんコンシェルジュ (23,540千円)	・一人ひとりの事情に応じる総合窓口機能と保育に関する相談・情報提供等	府民生活部
		女性再就職支援コーナー (13,500千円)	・女性が安心して再就職又は新たに就職するための就業支援	府民生活部
		母子自立支援コーナー (20,625千円)	・母子福祉相談及び就業相談	健康福祉部
		安心ゆりかごサポート 【拡充】 (20,000千円) 【新規】	・就職活動中や就職決定後保育所が決まるまでの一時保育（最長3か月→1年） ・保育環境の改善として戸外スペース設置	府民生活部
		マザーズジョブカフェ北部サテライト (9,300千円)	・福知山市（ハローワーク福知山）に設置し就業や保育相談等に加え、舞鶴・綾部・京丹後・宮津地域等での巡回相談	府民生活部
	再就職支援機能	ママ再就職フェア (1,200千円)	・仕事と子育ての両立が可能な企業の出展による就職説明会等	府民生活部
		就職応援セミナー・パソコン講座 (9,525千円)	・再就職へ向けて、仕事と子育ての両立に役立つ情報の提供やパソコン講座	府民生活部
担当課 担当名	男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進担当 家庭支援課 母子・父子担当	課・担当 電話番号	075-692-3473 075-414-4584	

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）事業費								
予算額	29,496千円	新規・継続の別	継続						
事業内容	<p>1 目的 公労使一体で取り組む京都ワーク・ライフ・バランスセンターを拠点に、中小企業の取組や府民の地域活動の参加等を促進することにより、仕事・生活・地域活動等が調和した府民生活の実現を図る</p> <p>2 事業内容等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進費 (26,496千円) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランス企業支援チームが、中小企業のニーズに合わせ、法に沿った制度の整備・運用の支援や、助成金、取組事例の情報提供などを国等と連携して実施 ▶ 就職活動中の若年者を対象としたワーク・ライフ・バランス推進企業フェアの開催等により「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ○ 地域主体の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域団体、企業、大学等の連携による、団塊世代の地域参加や多世代交流の促進などの取組を支援し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを推進（山城管内） </td> </tr> <tr> <td> 仕事と生活のグッドバランス推進事業費 (3,000千円) 【新規】 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた取組を促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナー ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾 ▶ 地域でワーク・ライフ・バランスの理解を深める集い </td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進費 (26,496千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランス企業支援チームが、中小企業のニーズに合わせ、法に沿った制度の整備・運用の支援や、助成金、取組事例の情報提供などを国等と連携して実施 ▶ 就職活動中の若年者を対象としたワーク・ライフ・バランス推進企業フェアの開催等により「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ○ 地域主体の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域団体、企業、大学等の連携による、団塊世代の地域参加や多世代交流の促進などの取組を支援し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを推進（山城管内） 	仕事と生活のグッドバランス推進事業費 (3,000千円) 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた取組を促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナー ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾 ▶ 地域でワーク・ライフ・バランスの理解を深める集い
項目	内容								
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進費 (26,496千円)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランス企業支援チームが、中小企業のニーズに合わせ、法に沿った制度の整備・運用の支援や、助成金、取組事例の情報提供などを国等と連携して実施 ▶ 就職活動中の若年者を対象としたワーク・ライフ・バランス推進企業フェアの開催等により「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言・認証企業の情報を紹介 ○ 地域主体の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域団体、企業、大学等の連携による、団塊世代の地域参加や多世代交流の促進などの取組を支援し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを推進（山城管内） 								
仕事と生活のグッドバランス推進事業費 (3,000千円) 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク・ライフ・バランスの実践に向けた取組を促進 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業人財確保センターとの連携による中小企業経営者対象のセミナー ▶ 大学生のためのキャリアデザイン塾 ▶ 地域でワーク・ライフ・バランスの理解を深める集い 								
目的 対象 方法等									
担当課・担当名	男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進担当	課・担当 電話番号	075-692-3473						

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	京都女性起業家賞（アントレプレナー賞）創設費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>新たなビジネスを提唱する女性からの提案を全国から公募し、女性の起業モデルとなる提案を顕彰するとともに事業化を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>▶知事賞の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都女性起業家賞（仮称：知事賞）」を創設し、新たなビジネスモデルとなる事業を全国から公募 ・審査過程において、ブラッシュアップセミナー等を開催 ・公開プレゼンテーションにおいて最終審査を実施し、受賞者を選考 <p>▶受賞者に対する支援</p> <p>コーディネーターを配置し、起業・経営相談を行うとともに、広報活動を支援</p>		
担当課・担当名	男女共同参画課 企画・推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4291

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部・商工労働観光部

事業名	ひきこもり自立支援「チーム絆」事業費																											
予算額	58,020千円	新規・継続の別	継続																									
事業内容	<p>1 趣 旨 社会問題化している青少年の「社会的ひきこもり」について、行政機関と民間支援団体が協働・連携し、ひきこもり当事者の自立と社会参加を促進するとともに、当事者を支える家族の負担を軽減し、家族の「安心と安らぎ」を確保する</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目（予算額）</th> <th>内 容</th> <th>所管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「チーム絆」による訪問支援 (29,689千円)</td> <td>臨床心理士や民間団体等による訪問応援チーム（「チーム絆」）の体制を拡充し、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>「絆パートナー」派遣事業 (320千円)</td> <td>ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ひきこもり支援職親事業</td> <td>回復期の支援 (3,958千円)</td> <td>ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（＝職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>就労自立期の支援 (20,800千円)</td> <td>ひきこもり青少年の適応状況に応じて企業等に雇用委託を行い、段階的に就業時間を増加、常用雇用につなげる</td> <td>府民生活部 商工労働観光部</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり支援ネットワーク推進事業 (99千円)</td> <td>NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>ひきこもり専門相談窓口設置事業 (1,620千円)</td> <td>ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施</td> <td>健康福祉部</td> </tr> <tr> <td>共同体験活動支援事業等 (1,534千円)</td> <td>ひきこもりからの回復と仲間づくりを通して社会参加の意欲を養うための共同体験活動や、支援情報等を発信するポータルサイトの運営</td> <td>府民生活部</td> </tr> </tbody> </table>			項 目（予算額）	内 容	所管	「チーム絆」による訪問支援 (29,689千円)	臨床心理士や民間団体等による訪問応援チーム（「チーム絆」）の体制を拡充し、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援	府民生活部	「絆パートナー」派遣事業 (320千円)	ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減	府民生活部	ひきこもり支援職親事業	回復期の支援 (3,958千円)	ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（＝職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施	府民生活部	就労自立期の支援 (20,800千円)	ひきこもり青少年の適応状況に応じて企業等に雇用委託を行い、段階的に就業時間を増加、常用雇用につなげる	府民生活部 商工労働観光部	ひきこもり支援ネットワーク推進事業 (99千円)	NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等	府民生活部	ひきこもり専門相談窓口設置事業 (1,620千円)	ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施	健康福祉部	共同体験活動支援事業等 (1,534千円)	ひきこもりからの回復と仲間づくりを通して社会参加の意欲を養うための共同体験活動や、支援情報等を発信するポータルサイトの運営	府民生活部
項 目（予算額）	内 容	所管																										
「チーム絆」による訪問支援 (29,689千円)	臨床心理士や民間団体等による訪問応援チーム（「チーム絆」）の体制を拡充し、ひきこもり青少年の訪問支援を行い、早期回復や自立を支援	府民生活部																										
「絆パートナー」派遣事業 (320千円)	ひきこもり経験者が自身の体験やアドバイスを伝えることで、当事者や家族の精神的負担を軽減	府民生活部																										
ひきこもり支援職親事業	回復期の支援 (3,958千円)	ひきこもりの青少年を受け入れる事業所（＝職親）の募集及び認定を行い、就労体験活動を実施	府民生活部																									
	就労自立期の支援 (20,800千円)	ひきこもり青少年の適応状況に応じて企業等に雇用委託を行い、段階的に就業時間を増加、常用雇用につなげる	府民生活部 商工労働観光部																									
ひきこもり支援ネットワーク推進事業 (99千円)	NPO等民間支援団体と行政関係機関等との連携・協働を目的とする「京都府青少年の社会的ひきこもり支援ネットワーク連絡会議」の運営等	府民生活部																										
ひきこもり専門相談窓口設置事業 (1,620千円)	ひきこもり相談支援センターにおいて、専門相談（電話、面接）及び家族教室を実施	健康福祉部																										
共同体験活動支援事業等 (1,534千円)	ひきこもりからの回復と仲間づくりを通して社会参加の意欲を養うための共同体験活動や、支援情報等を発信するポータルサイトの運営	府民生活部																										
（目的対象方法等）																												
担当課・担当名	（以下の事業以外） 青少年課 企画・育成担当 （ひきこもり専門相談窓口設置事業） 障害者支援課 認定・精神担当 （就労自立期の支援の一部） 緊急経済・雇用対策課	課・担当 電話番号	青少年課：075-414-4301 障害者支援課：075-414-4732 緊急経済・雇用対策課：075-414-4872																									

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・教育委員会・警察本部

事業名	青少年再チャレンジ支援事業費														
予算額	131,059千円	新規・継続の別	新規												
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 非行少年の立ち直り支援や少年非行抑止を図るため、関係機関と一体となって総合的に少年非行対策を推進</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>所管部局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非行少年等立ち直り支援事業費 【新規】 (10,151千円)</td> <td>・支援コーディネーターを中心とした「立ち直り支援チーム」を創設 (設置場所：家庭支援総合センター) ・京都市や警察、学校、家庭裁判所等と緊密に連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成し体験活動を通じた立ち直りを支援</td> <td>府民生活部</td> </tr> <tr> <td>少年非行問題総合対策事業費 【新規】 (18,347千円)</td> <td>・まなび・生活アドバイザーの拡充配置し、課題を抱える児童に対する家庭支援など個別指導を強化 ・児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための道徳教育教材等を作成</td> <td>教育委員会</td> </tr> <tr> <td>少年非行抑止ネットワーク事業費 【拡充】 (102,561千円)</td> <td>・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置</td> <td>警察本部</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	内 容	所管部局	非行少年等立ち直り支援事業費 【新規】 (10,151千円)	・支援コーディネーターを中心とした「立ち直り支援チーム」を創設 (設置場所：家庭支援総合センター) ・京都市や警察、学校、家庭裁判所等と緊密に連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成し体験活動を通じた立ち直りを支援	府民生活部	少年非行問題総合対策事業費 【新規】 (18,347千円)	・まなび・生活アドバイザーの拡充配置し、課題を抱える児童に対する家庭支援など個別指導を強化 ・児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための道徳教育教材等を作成	教育委員会	少年非行抑止ネットワーク事業費 【拡充】 (102,561千円)	・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置	警察本部
	項 目	内 容	所管部局												
	非行少年等立ち直り支援事業費 【新規】 (10,151千円)	・支援コーディネーターを中心とした「立ち直り支援チーム」を創設 (設置場所：家庭支援総合センター) ・京都市や警察、学校、家庭裁判所等と緊密に連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成し体験活動を通じた立ち直りを支援	府民生活部												
	少年非行問題総合対策事業費 【新規】 (18,347千円)	・まなび・生活アドバイザーの拡充配置し、課題を抱える児童に対する家庭支援など個別指導を強化 ・児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための道徳教育教材等を作成	教育委員会												
少年非行抑止ネットワーク事業費 【拡充】 (102,561千円)	・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を行うためのスクールサポーターの配置	警察本部													
担当課・担当名	<small>(非行少年等立ち直り支援事業)</small> 青少年課 企画・育成担当 <small>(少年非行問題総合対策事業)</small> 教育委員会 学校教育課 指導第2担当 <small>(少年非行抑止ネットワーク事業)</small> 警察本部 少年課 少年サポートセンター	課・担当 電話番号	青少年課：075-414-4301 学校教育課：075-414-5840 少年課：075-451-9111 (内線 713-580)												

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部・警察本部

事業名	少年非行阻止推進費		
予算額	30,850千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 府・市町村・青少年育成団体・ボランティア団体・地元自治会等の協働により非行のない社会を実現するため、府民総ぐるみの非行防止運動を実施</p> <p>2 事業概要</p>		
	項 目	内 容	所管部局
	府民運動の展開 (4,000千円)	<p>地域ぐるみで行う少年非行防止行動【新規】 (府民協働防犯ステーション参画団体及び青少年育成団体等が連携し、非行防止住民大会、住民啓発パレード等を開催)</p> <hr/> <p>青少年育成団体等との協働による府民啓発運動 (明日の京都府民会議に参画する青少年育成団体等と協働し、多世代交流イベントなど様々な取組を実施し、青少年の健全育成・少年非行防止の気運を醸成)</p>	府民生活部
	パトロールの強化 (23,850千円)	<p>府民協働防犯ステーションを中心としたパトロール・見守り</p> <hr/> <p>非行防止対策チームによるパトロール (警察官とスクールサポーター、少年輔導委員等によるチームが非行少年が多数集まる学校周辺、繁華街等でのパトロールを実施)</p>	府民生活部 警察本部
薬物乱用防止対策(3,000千円)	<p>薬物乱用防止対策の実施 (事業者、民間団体と行政が一体となって啓発活動や各種教室を実施)</p>	健康福祉部	
担当課 ・ 担当名	<p>(府民運動の展開) 青少年課 企画・育成担当</p> <p>(府民協働防犯ステーション) 安心・安全まちづくり推進課 企画担当</p> <p>(薬物乱用防止対策) 薬務課 指導・啓発担当</p> <p>(非行防止対策チーム) 警察本部 少年課 少年サポートセンター</p>	課・担当 電話番号	<p>青少年課：075-414-4301</p> <p>安心・安全まちづくり推進課：075-414-5079</p> <p>薬務課：075-414-4786</p> <p>少年課：075-451-9111 (内線 713-580)</p>

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・商工労働観光部

事業名	公共再生プロジェクト推進費		
予算額	471,851千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 公共性のある地域課題の解決のため、多様な主体が自主的に取り組む活動を支援し、地域力再生活動の府内全域での活発化を図る</p> <p>2 事業内容</p>		
	項 目	内 容	予算額
	○市町村未来づくり交付金 (地域力再生交付金)	▶地域団体が行う公共的な地域づくりの基盤となる活動の支援 ※「ソーシャル・ビジネス」枠を新設し、地域力再生活動団体と中小企業事業者との連携を支援	300,000千円
	○公共空間活用推進事業 (地域普請)	▶地域の多様な主体が事業協定を締結し、「公共空間(道路や河川等)」を整備・活用して行う地域活性化事業を支援	83,000千円
○地域力再生支援事業	<p>▶各パートナーシップセンターにおいてプラットフォーム活動等、多様な主体の協働を支援</p> <p>▶ボランティア希望者と活動団体を結び付ける「地域力応援団」を運営</p> <p>▶NPOを支えるNPO(中間支援団体)の取組を応援し、個々のNPOの自発的な活動を支援</p> <p>▶認定NPO法人の拡大及びNPO法人の寄附募集の支援【新規】</p> <p>▶地域力再生コラボ博覧会等の開催</p>	88,851千円	
担当課・担当名	府民力推進課 協働推進担当 産業労働総務課 企画・地域戦略担当	課・担当 電話番号	075-414-4211 075-414-4819

平成24年度 当初予算案主要事項説明

(共 通)

事業名	総合防災対策推進費		
予算額	24,872,535千円	新規・継続の別	継続(一部新規)
事業内容 (目的) 対象 方法等	<p>1 趣旨 東日本大震災や台風災害の教訓のもと、地震、台風から原子力災害に至るまで危機管理・防災対策を抜本的に強化し、府民の生命・財産をしっかりとする</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)地震防災対策推進費(耐震化促進) 13,561,191千円 地震等の大災害から府民の生命・身体・財産を守るため、学校や病院、民間住宅、橋りょう等の耐震化を促進 <学 校>山城高校、鳥羽高校 ほか <病 院>京都第一赤病院、京都市立病院 ほか <橋りょう>奈良加茂線:恭仁大橋 綾部宮島線:長佐大橋 国道173号:新綾部大橋 ほか</p> <p>(2)放射能安全対策推進事業費 502,559千円 UPZ(緊急時防護措置を迅速に実施するための整備がなされなければならない地域)の範囲が原子力施設の半径30kmに拡大されることに伴い必要となる防災体制の強化</p> <p>(3)集中豪雨対策推進費 9,871,417千円 台風等による豪雨災害に備え、道路・河川・砂防施設・ため池等の整備や河川の氾濫シミュレーション等による洪水・土砂災害対策を推進 <河 川> 鴨川(京都市)、桂川(亀岡市・南丹市)、福田川(京丹後市) <砂 防> 水尾川(京都市)、地頭(舞鶴市) <府営ため池整備> 早間池(綾部市)、大石ヶ谷池(南丹市)</p> <p>(4)広域防災活動体制整備費 937,368千円 東日本大震災の教訓から、円滑な救助・救援活動の基地となる広域活動拠点を整備するなど、災害発生時における活動体制を強化 (広域防災活動体制推進費、災害救助用備蓄物資整備費 ほか)</p>		
担当課名	知事直轄組織 給与厚生課 政策企画部 企画総務課 府民生活部 危機管理・防災課 文化環境部 文化環境総務課 健康福祉部 健康福祉総務課 農林水産部 農 政 課 建設交通部 監 理 課 教育委員会 総務企画課 警察本部 会 計 課	課・担当 電話番号	075-414-4115 075-414-4336 075-414-4466 075-414-4183 075-414-4687 075-414-4948 075-414-5173 075-414-5708 075-451-9111(内2243)

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・文化環境部・健康福祉部・農林水産部・警察本部

事業名	放射能安全対策推進事業費			
予算額	502,559千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨 UPZ(緊急時防護措置を迅速に実施するための整備がなされていない地域)の範囲が原子力施設の半径30kmに拡大されることに伴い必要となる原子力防災体制の抜本的な強化を図る			
	2 事業概要			
		事項	事業概要	予算額(千円)
		放射線モニタリングの強化	環境放射線の変化を的確に監視するためのモニタリング体制強化 ・モニタリングポストの配置(可搬型を固定型へ置き換え) ・モニタリングカーの追加整備	272,782
		緊急時連絡網の整備	新たにUPZ圏内となる市町と国・府を相互に結ぶ専用ネットワークの整備等	68,246
		防災活動資機材の整備	発災時の活動要員(警察、消防、行政)の装備品やスクリーニング用資機材の追加整備等 ・防護服セット・線量計 ・サーベイメーター	124,108
		救急等医療対策の強化	避難者用のヨウ素剤等の追加整備	1,538
		原子力総合防災訓練の実施	国、福井県、滋賀県、市町等と合同での原子力総合防災訓練の実施や府民への普及啓発等	30,885
	食の安心・安全の確保	国の食品中の放射性物質規制値に対応した府内産農林水産物の放射性物質検査を行い、結果を公表	5,000	
	合 計		502,559	
担当課・担当名	危機管理・防災課 環境管理課 医療課 食の安心・安全推進課 警察本部	危機管理・原子力等安全担当 大気担当 地域医療担当 食の安全担当 警備第一課危機管理対策室	課・担当 電話番号 075-414-4473 075-414-4709 075-414-4744 075-414-5654 075-451-9111 (内5751)	

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	地域防災力づくり事業費		
予算額	7,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 趣旨 府内各地における地域防災力の強化を図るため、市町村等関係機関と連携して、次代を担う児童・生徒とその保護者を対象とした防災教育の普及や総合防災訓練の実施による防災意識向上を図るとともに、自主防災組織等の活動を支援</p> <p>2 内容</p> <p>(1)次世代防災力育成プロジェクト 消防機関等から講師を迎え、児童・生徒向け防災教育を実施</p> <p>○防災体験学習 ・親子参加型での体験学習 ・「知識」が「行動」につながる防災教育プログラムの普及 等</p> <p>○学校向け防災講習 ・防災知識、防災教育事例の講習 ・小中学校への職員出前講座</p> <p>(2)防災人づくり事業 ○防災講演会等普及啓発 ○自主防災組織に対する研修 ○企業防災担当者に対する研修 等</p> <p>(3)災害ボランティアセンターの設置・運用研修等の開催</p> <p>(4)総合防災訓練の実施 ○防災関係機関の技能向上とともに、住民、学校、企業等も参加した京都府総合防災訓練の実施</p> <p>(5)自主防災組織の育成及び活動支援 ○取組事例の共有化、防災訓練の共同実施など自主防災組織間の連携強化を支援</p>		
担当課・担当名	危機管理・防災課 対策担当	課・担当 電話番号	075-414-4472

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	京都府地域防災計画改訂費		
予算額	1,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>東日本大震災、台風第12号、第15号の被災地支援の成果・教訓を踏まえ、京都府地域防災計画を見直すことにより、府民のさらなる安心・安全を確保する</p> <p>2 事業概要</p> <p>平成23年5月策定の「原子力発電所防災対策暫定計画」及び平成24年3月予定の複合災害・広域災害に対応した京都府地域防災計画見直しを「第一次抜本的見直し」と位置付け。</p> <p>今後、法改正や国の指針見直しが予定されていることから、平成24年度も「京都府防災会議地域防災の見直し部会」等での議論を踏まえた検討を継続する</p>		
担当課・担当名	危機管理・防災課 計画担当	課・担当電話番号	075-414-4475

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	東日本大震災復興支援金																						
予算額	29,400千円	新規・継続の別	継続																				
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 東日本大震災の被災地の中でも、特に甚大な被害を受けた岩手県、宮城県及び福島県の復興を支援する</p> <p>2 内 容 「京都府議会による東日本大震災からの復興支援に関する条例」(平成23年11月1日施行)に基づき、実施される議員報酬削減と同額を被災地復興のための支援金として支出</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>岩手県</th> <th>宮城県</th> <th>福島県</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>7,000</td> <td>7,000</td> <td>7,000</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td><u>24</u></td> <td><u>9,800</u></td> <td><u>9,800</u></td> <td><u>9,800</u></td> <td><u>29,400</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,800</td> <td>16,800</td> <td>16,800</td> <td>50,400</td> </tr> </tbody> </table>			年度	岩手県	宮城県	福島県	計	23	7,000	7,000	7,000	21,000	<u>24</u>	<u>9,800</u>	<u>9,800</u>	<u>9,800</u>	<u>29,400</u>	計	16,800	16,800	16,800	50,400
年度	岩手県	宮城県	福島県	計																			
23	7,000	7,000	7,000	21,000																			
<u>24</u>	<u>9,800</u>	<u>9,800</u>	<u>9,800</u>	<u>29,400</u>																			
計	16,800	16,800	16,800	50,400																			
担当課・担当名	危機管理・防災課 災害支援対策担当	課・担当電話番号	075-414-5612																				

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	広域防災活動体制推進費										
予算額	35,000千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨 東日本大震災の教訓から、広域災害発生時における円滑な応援部隊の集結、救援物資等の受け入れ・配送活動や、被災地への救援物資の配送等を行うための後方支援活動の基地となる「広域活動拠点」を整備し、府の活動体制の強化を図る</p> <p>2 事業内容 府内に分布するどの断層で地震が発生した場合でも救助・救援活動が展開できるよう、<u>3箇所に拠点機能を整備する</u></p> <p>【整備場所】 北部：京都舞鶴港 中部：丹波自然運動公園 南部：山城総合運動公園</p> <table border="1" data-bbox="440 1303 1394 1812"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地調整本部機能</td> <td>防災関係機関等(自衛隊、消防、警察、行政等)が作戦会議等に使用するためのエアータント等</td> </tr> <tr> <td>ヘリポート機能</td> <td>消防ヘリ等が夜間に離発着するための誘導灯セット</td> </tr> <tr> <td>活動拠点としての機能維持</td> <td>簡易倉庫、自家発電機、簡易トイレ等</td> </tr> </tbody> </table>			機能	整備内容	現地調整本部機能	防災関係機関等(自衛隊、消防、警察、行政等)が作戦会議等に使用するためのエアータント等	ヘリポート機能	消防ヘリ等が夜間に離発着するための誘導灯セット	活動拠点としての機能維持	簡易倉庫、自家発電機、簡易トイレ等
機能	整備内容										
現地調整本部機能	防災関係機関等(自衛隊、消防、警察、行政等)が作戦会議等に使用するためのエアータント等										
ヘリポート機能	消防ヘリ等が夜間に離発着するための誘導灯セット										
活動拠点としての機能維持	簡易倉庫、自家発電機、簡易トイレ等										
担当課・担当名	危機管理・防災課 計画担当	課・担当 電話番号	075-414-4475								

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	わがまちの消防団強化・応援事業費		
予算額	131,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的 消防団員の確保等、消防団が実施する取組を支援し、安心安全な地域づくりを推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) わがまちの消防団強化交付金 (100,000千円) 消防団の自主的な取組に対する支援 ・事業主体：(財)京都府消防協会 ・対象事業：地域での訓練や講習会、女性団員など団員の募集、事業所への啓発、詰所等活動環境の改善 など</p> <p>(2) 地域防災力総合支援事業補助金 (30,000千円) 消防力確保のための消防団車両の整備などに対する支援 ・事業主体：市町村 ・対象事業：多機能型消防車 など</p> <p>(3) 消防団研修事業 (1,000千円) 【隔年実施】 消防団幹部の資質向上を図るための研修会に対する支援</p>		
担当課・担当名	消防安全課 消防担当	課・担当 電話番号	075-414-4476

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	消防学校施設整備費											
予算額	267,000千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的 大規模自然災害、テロ対策等、複雑・多様化する被災現場で即戦力として対応できる人材を育成するため、府立消防学校の訓練環境を改善</p> <p>2 事業概要 老朽化し耐震性能にも欠ける現在の屋内訓練場(昭和36年建設：554㎡)を建て替え、雨天時でも実技訓練が可能となるよう訓練環境を整備する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>構造・規模</td> <td>1F 鉄筋コンクリート造 2F 鉄骨造</td> <td>延床面積：約1,000㎡</td> </tr> <tr> <td>機能・特色</td> <td colspan="2"> ○消防車、救急車を使用した訓練及びホース延長、実放水訓練が可能 ○ロープ渡過等の救助訓練や高所訓練、山岳救助基礎訓練が可能 ○震災時の避難等府民の利活用も可能 </td> </tr> <tr> <td>整備時期</td> <td colspan="2"> 23年度 屋内訓練場の実施設計等 59,000千円 24年度 本体工事等 <u>267,000千円</u> </td> </tr> </table>			構造・規模	1F 鉄筋コンクリート造 2F 鉄骨造	延床面積：約1,000㎡	機能・特色	○消防車、救急車を使用した訓練及びホース延長、実放水訓練が可能 ○ロープ渡過等の救助訓練や高所訓練、山岳救助基礎訓練が可能 ○震災時の避難等府民の利活用も可能		整備時期	23年度 屋内訓練場の実施設計等 59,000千円 24年度 本体工事等 <u>267,000千円</u>	
構造・規模	1F 鉄筋コンクリート造 2F 鉄骨造	延床面積：約1,000㎡										
機能・特色	○消防車、救急車を使用した訓練及びホース延長、実放水訓練が可能 ○ロープ渡過等の救助訓練や高所訓練、山岳救助基礎訓練が可能 ○震災時の避難等府民の利活用も可能											
整備時期	23年度 屋内訓練場の実施設計等 59,000千円 24年度 本体工事等 <u>267,000千円</u>											
担当課・担当名	消防安全課 消防担当	課・担当 電話番号	075-414-4476									

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	ふるさとレスキュー事業費										
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 府内中山間部のうち消防署から遠い地域※において、災害時などに救急難民が生じないように、消防団員等の地域住民が協力し、現地でいち早くけが人等の救助・搬送を行う「ふるさとレスキュー」の立上げを支援する</p> <p>※119番通報後、常備消防到着までに30分程度要する地域</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="448 1111 1410 1765"> <tr> <td data-bbox="448 1111 639 1272">活動主体</td> <td data-bbox="639 1111 1410 1272">地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1272 639 1435">主な活動</td> <td data-bbox="639 1272 1410 1435">地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1435 639 1599">対象地域</td> <td data-bbox="639 1435 1410 1599">救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成24年度 概ね5カ所)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1599 639 1765">支援内容</td> <td data-bbox="639 1599 1410 1765">救助・救護活動用資機材の整備(バール、担架、 AEDなど)や救助訓練、講習会の開催等</td> </tr> </table>			活動主体	地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)	主な活動	地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動	対象地域	救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成24年度 概ね5カ所)	支援内容	救助・救護活動用資機材の整備(バール、担架、 AEDなど)や救助訓練、講習会の開催等
活動主体	地元消防団員と自主防災組織等地域住民 (地域の互助による仕組みづくり)										
主な活動	地域住民の求めに応じた救助救出活動、 常備消防と連携した救急活動										
対象地域	救急隊等の到着に時間を要する地域 (平成24年度 概ね5カ所)										
支援内容	救助・救護活動用資機材の整備(バール、担架、 AEDなど)や救助訓練、講習会の開催等										
担当課・担当名	消防安全課 消防担当	課・担当 電話番号	075-414-4476								

平成24年度 当初予算案主要事項説明

府民生活部・健康福祉部・農林水産部・建設交通部

事業名	消費者あんしんサポート事業費		
予算額	219,227千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 府民の安心・安全な消費生活を実現するため、地域で消費者を見守り、悪質事業者を許さない京都府づくりを推進</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 暮らしの安心推進員等による地域の見守り（9,019千円） ・ 暮らしの安心推進員による高齢者への見守り活動 ・ 様々な地域団体が取組む暮らしの安心訪問活動を支援</p> <p>(2) 高齢者の消費者被害防止強化（5,200千円）【新規】 ・ 福祉関係者への出前研修、「高齢者消費生活ホットライン」の開設等</p> <p>(3) チーム体制による困難案件の早期解決（9,776千円） ・ 「消費者あんしんチーム」による相談サポート、あっせん案の提示及び事業者指導等</p> <p>(4) 悪質商法をゆるさない京都府づくり（14,438千円）【拡充】 ・ 悪質な事業者への早期警告・処分による悪質商法の抑止、広域悪質商法リアルタイム対応システムの整備等</p> <p>(5) 消費者行政・事故情報の一元化（824千円） ・ 「暮らしの安心・安全推進本部」の運営</p> <p>(6) 相談・検査体制の整備等（179,970千円）【拡充】 ・ 市町村の相談窓口整備や相談員設置に対する支援 ・ 府内産農産物や府内に流通している食品の放射性物質検査の実施 等</p>		
担当課 ・ 担当名	消費生活安全センター 食の安心・安全推進課 食の安全担当 生活衛生課 食品衛生担当 薬務課 指導・啓発担当 住宅課 計画担当	課・担当 電話番号	075-671-0030 075-414-5654 075-414-4773 075-414-4786 075-414-5361

消費者あんしんサポート事業費

(単位:千円)

部局名	事項	予算額	財源内訳		事業の概要	備考	
			特定財源	一般財源			
<くらしの安心推進員等による地域の見守り>			9,019 千円				
府民生活部 農林水産部	くらしの安心・安全ネットワークづくり事業費	7,613	繰入	3,677	3,936	くらしの安心推進員による高齢者への見守り活動、食品表示についての情報収集と消費者あんしんチームへの情報提供等	H23 14,100
府民生活部	くらしの安心訪問活動実践化事業費	1,406	繰入	1,406	—	自治体、防犯団体、NPO等様々な地域団体が、府内各地で取組むくらしの安心訪問活動を支援	H23 2,500
<高齢者の消費者被害防止強化>			5,200 千円				
府民生活部	高齢者消費者トラブルストップ大作戦事業費	5,200	繰入	5,200	—	福祉関係者への出前研修、「高齢者消費生活ホットライン」の開設等	H23 —
<チーム体制による困難案件の早期解決>			9,776 千円				
府民生活部	消費者あんしんチーム事業費	9,776	繰入	9,276	500	府・市町村、弁護士及び建築士等の専門家で構成する「消費者あんしんチーム」による相談サポート、あっせん案の提示及び事業者指導等	H23 16,000
<悪質商法を許さない京都府づくり>			14,438 千円				
府民生活部	悪質商法徹底撃退事業費	10,745	繰入	10,290	455	悪質な事業者への早期警告・処分による悪質商法の抑止及び少額被害者の掘り起こし、集団訴訟支援等による効率的な被害回復の実施、府内全域のリアルタイムな相談情報共有による事業者の監視強化	H23 7,000
府民生活部 健康福祉部	多重債務相談等事業費	3,693	繰入	3,500	193	弁護士による多重債務相談、多重債務に関する情報提供等	H23 4,000
<消費者行政・事故情報の一元化>			824 千円				
府民生活部	くらしの安心・安全推進本	824	繰入	590	234	消費者行政に係る施策の企画・総合調整、重大事故発生時の各部への指示等	H23 1,200
<相談・検査体制の整備等>			179,970 千円				
府民生活部	市町村相談センター整備促進等事業費	120,000	繰入	120,000	—	消費生活相談窓口の整備や相談員の設置に対する助成	H23 140,000
府民生活部	休日等消費生活相談事業費等	5,643	繰入	1,591	4,052	週末相談窓口の設置や市町村相談員実務研修等	H23 10,800
健康福祉部	無承認・無許可医薬品、健康食品等監視事業費	2,815		—	2,815	無承認・無許可の医薬品、健康食品等の販売店舗等の把握、監視指導、啓発強化等流通防止を実施	H23 2,964
農林水産部	食の安心・安全推進事業費	3,430	繰入	500	2,930	食品の安心・安全を推進するための取組 ・食品製造における品質管理と情報開示基準の両方を満たす食品事業者を登録し、府民に情報提供 ・食品業界を対象とした、食品表示に関する研修の実施等	H23 3,930
健康福祉部 農林水産部	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	36,213	使	505	35,708	食品の安心・安全を確保するための取組 ・食品表示関係職員からなる連携チームを設置し、合同巡回調査を実施 ・食品衛生推進員等による食中毒予防等自主衛生管理の推進 ・府内産農産物や府内に流通している食品の放射性物質検査の実施等	H23 30,313
建設交通部	住宅相談事業費	11,869	国	5,341	6,528	府民からの住宅に関する法律的・技術的な相談への対応	H23 12,713
合計		219,227	使 繰入	505 156,030	57,351		